

本校の体力・運動能力、運動習慣等向上の取組についての評価

(1) 効果があった取組

○1校1取組「チャレンジ縄跳び」を、年間通じて実施していることで、持久力の向上が図ることができたと考える。今年度の新体力テストにおけるシャトルランの結果、学校平均で昨年度比男子+1.4ポイント、女子+3.7ポイントと、ともに向上している。

○スポコン広場チャレンジランキングの種目を、学級や学年でのレクリエーションで取り組んだことで、運動習慣の向上を図ることができたと考える。5年生の休み時間や放課後の様子を見ると、多くの児童と一緒にドッジボールラリーやなわとびの練習を行っている。

(2) 改善を図る点

○1校1取組「チャレンジ縄跳び」を実施してきたが、運動技能の向上につながっていない。アンケートにおいて「いろいろな跳び方ができるようになったか」という問いにたいして、50%弱の児童が「以前と変わらない」と回答している。

○運動意欲の向上または継続が課題である。期間限定で、なわとびや持久走などの運動に取り組むが、それが習慣化していないことが、昨年度に引き続き、課題である。

今後の体力・運動能力、運動習慣等向上に対する取組

○1校1取組「チャレンジ縄跳び」を継続して行っていく。

ただし、運動意欲の向上または継続を図るため、技の目標クリアラインを引き下げ、スモールステップでの評価ができるようにする。目標を達成し賞状をもらえる機会が増えれば、運動への動機付けとなり意欲の向上または継続へとつながると考える。

○スポコン広場チャレンジランキングの種目を、より多くの機会に取り入れていく。レクリエーションなどで楽しく運動に参加できる機会を増やし、運動習慣等の向上を図る。